

一般社団法人 千葉県社会福祉士会
2022年度 第4回理事会議事録

1. 開催日時 2022年8月7日(日) 10:00～12:38

2. 会場 ZoomによるWeb会議

3. 出席者

会長	樽林
副会長	山口(利)、古澤、白井
事務局長	秦野
事務局次長	及川
会員理事	(総務委員会 企画部会・広報部会) 瀧澤 (総合相談委員会) 松本 (研修委員会) 浅見 (ばあとなあ委員会) 四ノ宮、石橋 (司法福祉委員会) 宮下、伊藤 (災害対策委員会) 服部
外部理事	片山、吉留、中村、水野
監事	市原、岡本(武)
相談役	渋沢
欠席	高橋、山下

理事18名、監事2名、相談役1名

敬称略

4. 議題

(1) 会長と三役会からの報告

- ・ 事務局職員の採用について
- ・ 法人後見について
- ・ 高齢者虐待対応研修について
- ・ 令和5年度予算編成について

(2) 各委員会報告事項に対する質疑

(3) 議事

① 経営戦略会議後の取り組みについて

- ・ 入会促進退会抑制について
- ・ 委員会の再編について
- ・ 受託事業について
- ・ 「高齢者虐待防止法の改正を視野にいたした提言についての意見募集」について

5. 議事録

○ 出席者の確認

事務局次長より、現在、対面及び Zoom による出席者 16 名 定款第 34 条により定足数に達しており、本理事会は成立すると報告。また、Web 会議システム (Zoom) により、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる仕組みとなっていることが確認されて、議案の審議に入った。

事務局次長

まず会長より挨拶をお願いします。

会長

おはようございます。先日東京大会に参加した。多くの会員が集まる熱い大会だった。社会福祉士として実践を報告することは大事だと感じた。当会でも魅力ある会づくりが大きな課題となっている。積極的な議論をお願いします。

(1) 会長と三役会からの報告

・ 事務局職員の採用について

説明：事務局長

8 月 4 日 2 名の採用を決めた。7 月末で正規職員 1 名、非常勤職員 2 名の退職を受けて急遽の採用となった。今事務が圧迫されている。事務の軽減について適宜各委員長とはお話しさせていただく。ご協力をお願いします。

(質疑なし)

・ 法人後見について

説明：ぱあとなあ運営委員長

1 件入所中の方を法人で受任している。施設内でトラブルもあり、今後個人の受任へ変えていく方向で進めていく。法人後見は当面控えていく。

(質疑なし)

・ 高齢者虐待対応研修について

説明：総合相談委員会副委員長

受託事業でもあるので今後どのように扱っていくか委員長と話し合っている。委員会の再編もかかわっており皆様と情報共有して議論を進めていく。

(質疑なし)

・ 令和 5 年度予算編成について

説明：9 月末予算案提出、11 月ヒヤリングをする。すでに試算表を送っている。予算と決算との開きがまだある。積算の根拠を持って策定をお願いします。

(質疑)

- ・ 事業計画もセットだろうか。
- ・ 委員会再編がかかっている。現状のまま作成していいのか。方向性を示してほしい。

説明：事務局長

- ・ 事業計画も合わせてお願いする。
- ・ 委員会再編と平行してすすめていただきたい。
- ・ 新しい委員会になったばかりなので、全体像を委員会内で共有ししていただき来年度に向けて検討をお願いする。

(2) 各委員会報告事項に対する質疑

事務局次長

特筆すべきもの、書き損じたもの以外はポイントを絞ったご発言をお願いする。

(総務委員会企画部会)

説明：部会長

- ・ 地域集会はほとんどオンライン併用になっている。参加していただきたい。スクールソーシャルワークについていじめ問題についても検討していく。

(質疑なし)

(総務委員会広報部会)

説明：部会長

- ・ 資料の通りであるが、次回点と線に載せてほしい記事があればおっしゃってほしい。広告掲載も広げていきたい。ご協力をお願いする。

補足説明：総務委員長

- ・ 外部理事、相談役へ原稿依頼をする。

(質疑)

- ・ 資料によると冊子は1冊2万5千円となっている、定形外は140枚×1,000部だと14万円になり赤字になるのではないか。
- ・ 即答できないので確認し文面で答えさせていただく。

(研修委員会)

説明：委員長

- ・ 資料の通りであるが、JCの模擬試験作成、和洋女子の試験対策であるが人材難である。淑徳大学等から実習指導者養成講座について合同企画の提案を受けている。後ほど承認をお願いする。
- ・ 基礎研修Ⅰにて事務局長以下、当会の説明をお願いする。

(質疑なし)

(ばあとなあ運営委員会)

説明：委員長

- ・ 資料の通りである。人事面での報告が主である。活動報告書のシステム化を行う。大きな転換となる。必須研修は好評であった。年間スケジュールも確認していただきたい。
- ・ 後ほど承認事項の決議をお願いする。

(質疑なし)

(司法福祉委員会)

説明：委員長

- ・ 資料の通りである。基礎編の研修をハイブリット形式で行った。有意義だった。今後学習会もある。

(質疑なし)

(災害対策委員会)

説明：災害対策委員長

- ・ 資料の通りであるが、3年ぶりに災害対策研修をオンラインで実施する。災害ボランティアセンター連絡会にも参加する。大規模災害が発生した際、本部と事務局との情報共有ツールがあれば便利である。当会の IT 化含め検討していく。

(質疑なし)

(松戸市居住不安定者等居宅生活移行支援事業)

説明：担当理事

- ・ 今回のように資料を付けて報告していく。月一回訪問して連絡調整していく。

(質疑なし)

事務局次長

それでは議事に移る。

(3) 議事

① 経営戦略会議後の取り組みについて

説明：担当理事

- ・ 事業と予算のあり方検討会議報告書、経営戦略会議報告書を参照してほしい。共有したうえで議論したい。魅力アップ・組織率向上委員会や10年ビジョンの作成等などこれから具体化していきたいが今日あげたそれぞれの項目についてまずは意見を聞きたい。

○入会促進退会抑制について

(質疑)

- ・ 入会促進キャンペーンはもっと PR した方がいい。退会抑制としてアンケートはどうか。魅力を上げるのはよい考え。各施設・事業所に訪問して直接伝えたらどうか。
- ・ HP 上によいチラシがある。配布はしていない。

- ・ 基礎研修の場で配れる。
- ・ 医療ソーシャルワーカー協会でも配布できる。
- ・ 当会の内容も加えて編集できる。
- ・ 60 数名の入会者にまずアプローチしたい。理事会後に情報交換の場（談話室）を作る。配布するより、地域集会などで直接声かけなどの方が効果あるのではないか。

○委員会再編

（質疑）

- ・ 委員会が何をしているのか不明確な部分がある。名称から想像できるものと違う。理事が今ある事業に追われてしまっている実情もある。自主的な事業と受託してやらざるをえない事業とが混在していることもある。
- ・ 総合相談委員会では意見交換の場を作るつもりである。
- ・ 受託事業と委員会業務とを分け、担当も窓口も、重なりを避けた方がよい。
- ・ 今後も検討していく。

○受託事業について

（質疑）

- ・ 前回の理事会でも検討したが、内閣府から孤独・孤立相談の依頼があれば前向きに応じていきたい。

② 「高齢者虐待防止法の改正を視野にいたした提言についての意見募集」について

説明：事務局長

添付資料の通り回答案をいただいている。検討していただきたい。またメールでいただいた意見も周知しているところであるが、回答期限が迫っているのでとりまとめの議論をお願いする。

補足説明：回答案提出者

提出資料に沿って説明

（質疑）

- ・ あり方検討委員会の中でシンクタンク機能、人材バンク機能を準備していこうという議論があった。意見募集として積極的に答えるべきかと思い意見を表明した。情報が足りない。高齢者虐待の福祉政策論として順序付けができない。6項目同列でよいというのが私の考えである。
- ・ 日本会からは優先順位をつけてほしいという依頼であった。他の意見は「ご意見」欄に記述して当会のまとめとするのがよい。
- ・ 介護事故の扱いも精査を加えていくべきである。
- ・ 施設内通報を強化するという方向性ならよい。
- ・ 介護事故の多発、隠蔽、サ高住への滞留については多少文言を修正した方がよい。
- ・ 意図・趣旨は理解したので細かい文脈の修正は三役一任がよい。

事務局長

それでは6項目の文言の修正、意見欄への記述は三役でとりまとめ後提出とさせていただく。賛成の方は挙手をお願いする。

→全員賛成

これにより、「高齢者虐待防止法の改正を視野にいたした提言についての意見募集」は三役のとりまとめ、提出で承認された。

(事務局からの報告)

説明：事務局長

添付資料の通り、派遣された委員会、協議会等の報告はA4用紙1枚にまとめていただければありがたい。後ほど新入会者の承認をお願いします。

○実習指導者養成講座の3か所開催に伴う同時案内文章の承諾依頼

説明：委員長

(質疑)

- ・ 当会だけで判断してよい内容なのか。淑徳大学、江戸川学園でも開催することを案内することに問題ないのか。共催ではなく、案内だけか。
- ・ 2校以外にもあるのではないかと。調べないうちに承認はできないのではないかと。
- ・ 人数が集まらないからか、人数が多すぎるからなのか。
- ・ 8月1日から募集開始した。9月16日締め切りである。他校への案内は締め切り後でよいのか。
- ・ 案内においては他と同じで理事会で承認事項としなくてもよいのではないかと。情報のリンクを張る程度でよいのではないかと。
- ・ 11月下旬の点と線に同封するということか。
- ・ 他団体の案内物なのか本会の案内物なのか明確にした方がよい。協力関係の内容も明らかにした方がよい。

説明：委員長

- ・ 2校との打合せ後のチラシである。3か所開催案内に問題はない。
- ・ 人数が多すぎていて、溢れた方へ案内したい。受講生に選択肢を広げることがねらいである。
- ・ 当会の締め切り後の案内でよい。
- ・ 11月下旬の点と線に同封し、HP掲載をお願いしたい。

事務局次長

有料で案内をしている団体もあるので精査し、次回理事会へ持ち越しとしたい。この場では承認を取らない。

○JC 模擬試験作成者および和洋女子大学受験対策講師募集について

説明：委員長

今年度に限り担当者に継続していただいたがこの先は難しい。来年度に向けて公募をしたい。公募の上、面接し採用とする。

(質疑)

- ・ 研修委員会所属とした方がよい。

説明：委員長

- ・ これを機に委員とするよう見直していく。

事務局次長

それではこの件について賛成の方は挙手をお願いする。

→全員賛成

これにより、「JC 模擬試験作成者および和洋女子大学受験対策講師募集について」は承認された。

○2021 年度事業報告の記述の誤りと訂正について

説明：ぱあとなあ運営委員長

明らかにミスであり、訂正し来年の総会で報告をさせていただく。再発を防ぐ体制にする。

(質疑)

- ・ HP 上でもこの資料を載せる対応をしたい。
- ・ 申請日 2021 年の記載がある。
- ・ 納付額と決算額とズレがある。

事務局次長

いくつか指摘があったので再度資料作成し、次回理事会に持ち越しとする。

事務局次長

7 月の新入会 6 名の入会について賛成の挙手を求める。

→全員賛成

これにより、「7 月の新入会 6 名入会」は承認された。

事務局次長

では、以上を持ちまして第 4 回理事会を閉会とさせていただく。

12 : 38 閉会